

2023年度
事業報告書
(2023.4 - 2024.3)

(公財) 都市活力研究所

目次

事業の状況

【公益事業1】 産学官の交流連携を促進するとともに人材育成、教育研修を実施することで、産業を振興し、地域社会の活性化を図る事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

1. ライフサイエンス分野における産業の振興

(1) 創薬シーズの育成

A. 創薬シーズ相談会（相談、助言）

(2) 創薬分野におけるコンピュータ利用の促進

A. インシリコ創薬支援事業（講座、セミナー、育成）

(3) ライフサイエンス産業人材の育成

A. バイオ講座（講座、セミナー、育成）

B. 関西ライフサイエンス・リーディングサイエンティストセミナー
（講座、セミナー、育成）

C. バイオメディカル研究会（講座、セミナー、育成）

D. バイオコミュニティ関西との共催セミナー（講座、セミナー、育成）

E. 次世代モダリティ研究所との共催セミナー（講座、セミナー、育成）

2. 起業家と起業マインドを育てるエコシステムの形成

(1) 起業家人材の育成

A. 起業関連セミナー（講座、セミナー、育成）

B. ソーシャルアントレプレナー育成プログラム（講座、セミナー、育成）

C. ソーシャルイノベーターズセッション（講座、セミナー、育成）

(2) 世界の先進事例の紹介と海外へ向けた情報発信

A. 国際イノベーション会議「Hack Osaka」

（講座、セミナー、育成）（相談、助言）（表彰、コンクール）

3. 産学融合による新産業創出システムの形成

(1) 新事業のために大学・産業界をつなぐ人材育成プログラムの組成

（講座、セミナー、育成）（調査、資料収集）

(2) 大学発ベンチャーの育成

（講座、セミナー、育成）（相談、助言）（表彰、コンクール）

(3) 産業の振興のための産学融合拠点のあり方の研究（調査、資料収集）

【公益事業2】まちづくりを推進し、都市の活性化を図る事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

1. 都心まちづくり等のあり方に関する調査研究

- (1) UIIまちづくり研究会（調査、資料収集）
 - （継続テーマ） サステナブルなまちづくりに関する調査研究
 - （継続テーマ） コミュニティ活動を通じた地域文化資源発見
- (2) UIIまちづくりに関するセミナーの開催（講座、セミナー、育成）
- (3) UIIまちづくりレターの配信（調査、資料収集）

2. 鉄道沿線まちづくりに関する調査研究

- (1) 都心近接エリアにおける鉄道沿線まちづくりに関する研究（調査、資料収集）

3. エリアマネジメントに関する調査研究

- (1) エリアマネジメントに関する調査・研究（講座、セミナー、育成）
- (2) エリアMICEの推進に関する調査・研究（調査、資料収集）

【その他事業】産業とまちの活性化のために実施する公益事業をより有効なものとするための
補助的事业・・ 22

1. 創薬関連プロジェクトの推進支援

- (1) （特非）バイオグリッドセンター関西の運営支援
- (2) （一社）日本マイクロバイームコンソーシアムの運営支援
- (3) バイオコミュニティ関西（BiocK）の運営支援
- (4) 次世代モダリティ研究所の運営支援

2. エリアマネジメント活動の支援

- (1) 梅田地区における案内所業務への支援
- (2) エリアマネジメント活性化会議の事務局支援

3. （公社）都市住宅学会関西支部の運営支援

4. 大学技術シーズの発掘と育成支援

5. 産学連携シェアオフィスの運営

【法人管理】公益法人としての適正な運営・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25

附属明細書・・ 26

事業の状況

【公益事業1】産学官の交流連携を促進するとともに人材育成、教育研修を実施することで、産業を振興し、地域社会の活性化を図る事業

1. ライフサイエンス分野における産業の振興

ライフサイエンス分野において、大学等での有望な技術や研究テーマである創薬シーズの育成支援、創薬分野へのコンピュータの利用促進を図るための事業推進、技術経営プログラムの提供、さらに国際的な事業連携の課題等の調査を通じて、産業の振興を図る。

(1) 創薬シーズの育成

A. 創薬シーズ相談会（相談、助言）

創薬シーズを保有し事業化への意欲を持つ大学等の研究者からの相談に対し、産業界のニーズに精通した製薬企業の研究企画部門担当者が相談委員（22社28名）となり、研究開発の方向性について助言を行う。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、昨々年度に引き続きオンライン開催とし、今年度は1回開催した。

大学から創薬シーズを収集するための広報活動は、医療系産学連携ネットワーク協議会（medU-net）の協力を得るとともに、当法人で実施したセミナー参加者にもメール発信した。

日程	シーズタイトル	シーズ相談者
11/30	癌予後マーカーの開発と高感度化へ資する独自抗体について	公立大学法人 福島県立医科大学

(2) 創薬分野におけるコンピュータ利用の促進

A. インシリコ創薬支援事業（講座、セミナー、育成）

（特非）バイオグリッドセンター関西と協力し、関西のデジタルヘルスの現状と展望をテーマに研究講演会を開催した。

タイトル	バイオグリッド研究会 2023 —関西デジタルヘルスの現状と展望—		
開催日	2023/5/27	参加	27名
主催	NPO法人バイオグリッドセンター関西		
共催	NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議、バイオコミュニティ関西（BiocK）、大阪大学サイバーメディアセンター		

プログラム :	13:30-13:40 理事長挨拶 NPO法人バイオグリッドセンター関西 理事長 下條真司 13:40-14:10 大阪デジタルヘルスファンドの概要と狙い 大阪府CIO兼スマートシティ戦略部長 坪田知巳 14:10-15:30 デジタルヘルススタートアップの創生 ① 医療・健康データ利活用促進に向けたBiocKパーソナルデータ分科会の活動 NTT西日本(株) エンタープライズビジネス営業部 地域プロデュース担当部長 寺田雅人 ② BiocKスタートアップ分科会活動とスタートアップ支援策 BiocKアドバイザー、有限監査法人トーマツ ビジネスアドバイザー 宮川 潤 ③ 国立循環器病研究センターにおけるスタートアップ支援の取り組み 国立循環器病研究センター 産学連携本部長 浅野滋啓 ④ 誰もがいのちを守り合う社会の実現に向けて ～恩送りによるヘルスケアデータの循環～ inochi WAKAZO Project / WAKAZO代表補佐 (立命館大学政策科学部) 飯塚遼馬 15:30-15:45 休憩 15:45-16:30 総合討論 16:30-17:30 交流会 (都市活セミナールーム)
------------	---

(特非) バイオグリッドセンター関西と協力し、ヘルスケアをテーマに研究講演会を開催した。

タイトル	バイオグリッド研究会2023WINTER-万博がもたらすヘルスケアイノベーション-		
開催日	2023/12/2	参加	32名
主催	NPO法人バイオグリッドセンター関西		
共催	当法人、NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議、大阪大学サイバーメディアセンター		
後援	バイオコミュニティ関西 (BiocK)		
プログラム :	13:00-13:05 理事長挨拶 NPO法人バイオグリッドセンター関西 理事長 下條真司 13:05-13:45 基調講演「再生医療の現状と未来」 澤芳樹 (大阪大学大学院医学系研究科 名誉教授) 13:45-14:05 講演「デジタルヘルス/SaMDの現状と期待」 小林義広 (田辺三菱製薬(株) 取締役 ファーマ戦略本部長 (日本デジタルヘルスアライアンス 会長)) 14:05-14:25 講演「関西の経済・社会・イノベーション」 中沢則夫 (一般社団法人うめきた未来イノベーション機構 (U-FINO) 理事長) 14:25-14:45 講演「大阪の成長戦略と国際未来拠点への期待」 池田純子 (大阪府成長戦略局長) 14:45-14:55 講演「バイオグリッドのヘルスケアへの思い」 下條真司 (バイオグリッドセンター関西理事長 (青森大学)) 15:00-15:30 総合討論 コーディネータ 坂田恒昭 (バイオグリッドセンター関西理事 (大阪大学)) 小林義広、中沢則夫、池田純子、下條真司		

(一社) ライフインテリジェンスコンソーシアム (LINC) と協力し、講演会を1回実施した。

日程	タイトル	主催者等	参加者
7/3	LINC SHOWCASE2023 - LINCが目指す創薬DXプラットフォーム	<p>【主催】一般社団法人ライフインテリジェンスコンソーシアム 【共催】当法人、NPO法人バイオグリッドセンター関西、京都大学大学院医学研究科、理化学研究所計算科学研究センター、医薬基盤・健康・栄養研究所</p> <p>13:30-13:45 オープニング 代表理事 奥野 恭史 (京都大学大学院医学研究科)</p> <p>13:45-14:20 DXの日本の現状と対応策 (仮) デジタル庁 統括官 村上敬亮</p> <p>14:30-16:00 パネルディスカッション 創薬DXプラットフォームの展望 (仮) ファシリテータ 理事 本間 光貴 (国立研究開発法人理化学研究所)</p> <p>パネリスト 代表理事 奥野 恭史 (京都大学大学院医学研究科) デジタル庁 統括官 村上敬亮 理事 水口 賢司 (国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所) 理事 上島 仁 (株式会社システム計画研究所) 理事 朝生 祐介 (第一三共株式会社)</p>	186名

(3) ライフサイエンス産業人材の育成

A. バイオ講座 (講座、セミナー、育成)

- ・「ライフサイエンス・アントレプレナー入門塾 2023」

本講座はライフサイエンス分野において、事業開拓や起業に関心を持つ大学院生、大学・研究機関研究者、起業家を目指す若手研究者や企業の事業開発担当者を対象とした人材育成を目的とする実践講座で12年目となる。毎月1回で7月から12月までの6日間の講座で選抜された社会人6名が受講している。過去の受講生の同窓会も開催した。

日程	タイトル	講師
第1日 7/8	「人と組織を動かすプレゼンテーションの極意」 「サントリーのデジタルヘルス・フードテック」	株式会社SmartPresen 代表取締役 新名史典 サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社 研究推進部 上席研究員 鈴木雄一
第2日 8/5	「デザイン思考入門」 「英国式イノベーションと日本文化」	神戸大学 V.School 特任教授 祇園景子 ケンブリッジコンサルタンツ株式会社 代表取締役社長 佐相宏尚
第3日	「製薬産業におけるオープンイノベーション戦略」	塩野義製薬株式会社 投資戦略部 有岡伸悟

9/9	「ベンチャースピリット」	株式会社創晶 代表取締役社長 安達宏昭
第4日 10/14	「リーダーシップの本質と実践」 「SDGsの世界感を体験する SDGs ワークショップ」	Eurus Therapeutics 株式会社 代表取締役 CEO FORESIGHT & LINX 株式会社 代表取締役 社長 能見 貴人 一般社団法人インバウンド・ダイバーシティ協会 代表理事 今田 大介
第5日 11/11	「事業化を目指す研究者のための特 許と契約」 「医療機器プログラム (SaMD) の 開発と事業化：成功への鍵を探る」	国立循環器病研究センター 産学連携本部長 浅野滋啓 株式会社 asken 医療事業部 副部長 松尾 恵太郎
第6日 12/9	「知財戦略のありかた」 「医療機器開発の現状と課題」	弁護士法人 山本特許法律事務所 弁理士 山本 秀策 神戸大学 大学院医学研究科医療創成工学専攻 特命教授 未来医工学研究開発センター／医学部附属病院 医工 探索創成センター 保多 隆裕

・「Innovation Design Management」

本講座はイノベーションのアイデアをカタチにするまでのプロセスをグループワークを通じて学ぶ3日間のプログラムです。JST START事業の一環で開催し、今期は10名の受講生が集いました。

第1日 (2/10)	「ニーズを探索する」	神戸大学V.School・准教授 鶴田宏樹 神戸大学V.School・准教授 祇園景子 東京医科歯科大学 統合イノベーション機構 オープンイノベーションセンター 特任教授 松浦昌宏 滋賀医科大学 創発的研究センター・特任助教 株式会社Medpreneur・代表取締役 高畑翔吾
第2日 (2/24)	「アイデアを具体化する」	
第3日 (3/9)	「価値を設定する」	

**B. 関西ライフサイエンス・リーディングサイエンティストセミナー
(講座、セミナー、育成)**

今年度で10期目となる本セミナーは、ライフサイエンス分野で最先端の研究を先導する関西の研究者を招き、最新情報の提供及び参加者同士の交流の場を提供することを目的としている。主催は当法人と近畿バイオインダストリー振興会議、共催はバイオグリッドセンター関西、後援は関西医薬品協会、バイオコミュニティ関西 (BiocK) 等の関西の諸団体の協力を得て継続している。

日程	タイトル	講師	参加者
第35回 4/3	「量子化学計算を用いた構造生命科学研 究」 「黄色ブドウ球菌クオラムセンシングの皮 膚および全身感染症における役割」	大阪大学大学院 薬学研究科 量子生命 情報薬学分野 教授 福澤 薫 大阪大学免疫学フロンティア研究セン ター・皮膚アレルギー生体防御 教授 松岡 悠美	56名
第36回 7/3	「脳AI融合の臨床応用」 「免疫の老化と再生医学」	大阪大学 高等共創研究院 研究室主任 教授 柳澤 琢史 京都大学 iPS細胞研究所 副所長・教授/京都大学医学研究科 免疫生物学 教授 濱崎 洋子	24名
第37回 9/6	「組換え蛋白質の超高効率生産を実現する 鶏卵バイオリクター」 「リンパ球動態を標的とした自己免疫疾患 の新規治療法の開発に向けて」	産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門 副研究部門長 大石 勲 大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 教授/大阪大学微生物病研究所 教授(兼 任)/大阪大学感染症総合研究教育拠点 教授(兼任) 鈴木 一博	28名
第38回 12/13	「生命の試験管内再構成とその再発明への 挑戦」 「マルチオミクス解析による小児がんの病 態理解と新規克服法の開発」	大阪大学大学院 工学研究科 教授 青木 航 京都大学大学院医学研究科 小児科 教授 滝田 順子	47名
第39回 3/18	「がん抑制因子活性化創薬によるがん治療 刷新を目指す」 「AI×量子×バイオ×1 分子技術の融合」	大阪大学産業科学研究所 教授 谷口 正輝 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄 養研究所 医薬基盤研究所 所長 片桐 豊雅 氏	96名

C. バイオメディカル研究会（講座、セミナー、育成）

本研究会は、日本バイオインフォマティクス学会が主催し、健康・医療のデータサイエンスに関わる研究を取り上げて先端研究を紹介し、参加者と討論するセミナーである。今回は「配列を超えたゲノム構造解析の最前線」をテーマに開催した。当法人は共催として企画・運営に協力している。

日程	タイトル	講師	参加者
第34回 8/3	<p>「難病を対象とした全ゲノム解析の取り組みの現状」</p> <p>「ヒト全ゲノムマッピングによるゲノム構造解析」</p> <p>「ロングリードシーケンスを用いたがんゲノムの後天的構造異常検出」</p> <p>「アンチセンス核酸によるDMD治療薬ビルトラルセンについて」</p> <p><ディスカッション></p>	<p>国立国際医療研究センター ゲノム医科学プロジェクト 副プロジェクト長 河合 洋介 株式会社日立ハイテク アナリティカルソリューション事業統括本部 永井 健夫 国立がん研究センター研究所 ゲノム解析基盤開発分野 分野長 白石 友一 日本新薬株式会社 取締役 研究開発担当 兼 研究開発本部長 高垣 和史</p>	106名
第35回 1/23	<p>「生成AIが牽引するDX：最新動向とその可能性」</p> <p>「SNSを医薬品安全対策の一環として活用するための調査結果について」</p> <p>「リアルワールドデータの拡充に向けた自然言語処理技術の活用について」</p> <p>「AI規制立法の最前線：EUのAI立法の背景と概要」</p> <p><ディスカッション></p>	<p>富士通株式会社 富士通研究所 プリンシパルリサーチディレクター 穴井 宏和</p> <p>独立行政法人医薬品医療機器総合機構 医薬品安全対策第二部 主任専門員 平澤 梓司</p> <p>大阪大学大学院医学系研究科 医療情報学 特任助教 杉本 賢人</p> <p>京都大学大学院法学研究科・大学院医学研究科 教授 山田 哲史</p>	24名

D. バイオコミュニティ関西との共催セミナー（講座、セミナー、育成）

2021年7月に設立されたバイオコミュニティ関西（BiocK）は、内閣府の「バイオ戦略」の普及啓発のためバイオ技術の社会実装を一般の方々に分かりやすく伝えるセミナーを開催している。当法人はNPO法人近畿バイオインダストリー振興会議と共に事務局を務め、本セミナーの企画・運営を担い、同団体の活動の支援をしている。

日程	タイトル	講師	参加者
8/3	<p>バイオ戦略トークセミナー ～オープンイノベーションによる成功の秘訣～</p> <p>①「オープンイノベーションによる画期的新薬の創生を目指して」</p> <p>②「シン・一次産業：自然と共生し生命（いのち）の根幹を担うイノベーションへの挑戦」</p> <p>③「シリコンバレーで見てきた脱炭素イノベーション ～欧米事例と日本の現在地～」</p>	<p>バイオコミュニティ関西（BiocK） 副委員長兼 統括コーディネーター 坂田恒昭</p> <p>ヤンマーホールディングス株式会社 技術本部 共創推進室 専任部長 鶴英明氏</p> <p>東北電力株式会社 事業創出部門アドバイザー ／大阪大学フォートサイト株式会社 取締役/ インベストメントLab株式会社シニアアドバイザー ／IZM 代表 出馬弘昭氏</p>	196名 内、会場 24名

日程	タイトル	講師	参加者
	④「たった一人からはじめるイノベーション ～ヘトヘトからワクワクへの仕組み創り～」 パネルディスカッション 交流会（会場参加者のみ）	京都大学 経営管理大学院 客員教授/ オムロン株式会社 イノベーション推進本部 シニアアドバイザー 竹林一氏 モデレーター：坂田恒昭 パネリスト：LINK-J事務局長 高橋俊一氏 登壇者全員	

E. 次世代モダリティ研究所との共催セミナー（講座、セミナー、育成）

その他事業として事務局業務を担っているモダリティ研究所との共催により下記のセミナーを開催した。

日程	タイトル	主催者等	参加者
5/26	第6回次世代モダリティセミナー ～ペプチド医薬品の進展～	主催：NPO法人情報計算化学生物学会・CBI研究機構・次世代モダリティ研究所 関西医薬品協会、LINK-J（一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン） 共催：当法人	950名 大阪会場 30人 オンライン 920人
8/4	第7回次世代モダリティセミナー ～TCR-Tの実現に向けて～	主催：NPO法人情報計算化学生物学会・CBI研究機構・次世代モダリティ研究所 関西医薬品協会、LINK-J（一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン） 共催：当法人	650名 大阪会場 32人 オンライン 618人
11/17	第8回次世代モダリティセミナー ～遺伝子治療の現状～	主催：NPO法人情報計算化学生物学会・CBI研究機構・次世代モダリティ研究所 関西医薬品協会、LINK-J（一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン） 共催：当法人	1292名 大阪会場 36人 オンライン 1256人
2/29	第9回次世代モダリティセミナー ～抗体医薬品の現在～	主催：NPO法人情報計算化学生物学会・CBI研究機構・次世代モダリティ研究所 関西医薬品協会、LINK-J（一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン） 共催：当法人	1210名 大阪会場 38人 オンライン 1172人

2. 起業家と起業マインドを育てるエコシステムの形成

起業家や起業支援者が集まり、新事業がふ化する魅力ある環境の形成を通じて、大阪の産業の振興を図る。

(1) 起業家人材の育成

A. 起業関連セミナー（講座、セミナー、育成）

年に一度開催されるHack Osaka(2.(2)に記載)を通じて構築された人脈の維持・拡大を図り、また起業家と支援者の接点作りのための交流会などを実施。

日程	タイトル	講師・内容	参加者
7/21	EXPO酒場 大阪梅田店	皆川 ゆり(阪急阪神不動産株式会社) 岡本栄理(株式会社オカムラ) 甲斐 莉枝子(学校法人関西大学)	163名
10/4	#FikaOsaka スタートアップにおける失敗の定義とは?! ~日本と海外の違い~	orosy株式会社 代表取締役 野口 寛士氏 株式会社TALANT 代表取締役 Yobi Da Silva Sungyup氏	30名
3/8	Osaka Fintech Workshop 2024	・基調講演 金融庁総合政策局 フィンテック参事官 清水茂氏 ・パネルディスカッション 「大阪の実産業×フィンテックの可能性について」 ・フィンテック企業によるピッチ ストライブジャパン株式会社 REVOLUT TECHNOLOGIES JAPAN 株式会社	67名
3/12	関西スタートアップ関係者 Meet up!	・講演 2023年スタートアップ資金調達動向、関西の現状は？	78名

B. ソーシャルアントレプレナー育成プログラム（講座、セミナー、育成）

社会課題の解決に挑戦する人達にそれを具体化させるための考え方や手法を教える新講座で年8日間から成る、社会起業家を輩出するためのプログラムです。事業アイデアを持ち寄り18名が受講中で本育成プログラムを通じて自身の事業プランを磨いていく。

日程	タイトル	講師
第1日 6/24	講義「アントレプレナーシップについて」 ワーク「その事業はどんな社会課題を解決するのか」	株式会社アーテラ 代表取締役/ 神戸大学 客員教授 佐藤正和
第2日 7/22	講義「社会課題の捉え方について」 ワーク「価値創造か課題解決か」	同上
第3日 8/26	講義「エフェクチュアル・アートシンキングと社会的インパクト」 ワーク「事業の社会的インパクトのロジックモデルをつくる」	同上
第4日 9/23	講義「ソーシャルアントレプレナーとビジネスモデル①」 ワーク「ココウエルのビジネスモデルキャンパスをつくる」	株式会社ココウエル 代表取締役 水井裕

第5日 10/28	講義「ソーシャルアントレプレナーとビジネスモデル②」 ワーク「ふたごじてんしゃのビジネスモデルキャンバスをつくる」	株式会社ふたごじてんしゃ 代表取締役 中原美智子
第6日 11/25	講義「CSV型ソーシャルイノベーションを導くビジネスモデル策定」 ワーク「社会的インパクトのアウトカム指標を考える」	株式会社アーテラ 代表取締役 / 神戸大学 客員教授 佐藤正和 ソーシャルインパクト マネジャー 今田大介
第7日 12/23	「実践ワークDAY」 ワーク「参加者同士でのサポートワーク、事業アドバイス、事業コラボ」	同上
第8日 1/27	「事業案発表」	神戸大学大学院 経営学研究科 教授 忽那憲治

C. ソーシャルイノベーターズセッション（講座、セミナー、育成）

社会起業家（社会課題解決を図ることにチャレンジする事業家）が経験談を披露し参加者と対話をしながら進めていくセミナーを年4回開催した。

日程	タイトル	講師	参加者
第1回 5/14	「社会課題を事業で解決する」 ～ポートフォリオアントレプレナーとしての 歩み～	株式会社アーテラ 代表取締役/ 神戸大学 客員教授 佐藤正和	15名
第2回 7/9	「組織から個の時代へ」 ～偶発性をどうデザインするべきか～	合同会社イキナセカイ代表/ 神戸大学 客員教授 安川幸男	18名
第3回 9/16	「社会課題解決を仕事にするキャリアデザイン」 ～多動力と編集力、2つの力で社会を動かす！～	株式会社GIVE&GIFT 代表取締役 NPO法人チュラキューブ 代表 関西大学・近畿大学・大阪芸術大学 非常勤講師 中川悠	16名
第4回 11/18	人を大切にする会社を増やし、 若者と共に地域のミライを創る	CH 代表 / チャンスメーカー 一般社団法人ミライ企業協議会 代表理事 / ミライ企業プロジェクト 代表 人を大切にする経営学会関西支部 事務局 局長 帝塚山学院大学・大阪経済法科大学・ 四條畷学園短期大学 非常勤講師 古民家沙々樹 世話人 佐々木 研	14名

(2) 世界の先進事例の紹介と海外へ向けた情報発信

A. 国際イノベーション会議「Hack Osaka」

(講座、セミナー、育成) (相談、助言) (表彰、コンクール)

2013年度より、大阪・関西における起業マインドを醸成し、地域起業支援コミュニティを活性化するため、海外のイノベーションへの取組みの先進的事例を紹介するとともに、国内外の起業家を対象としたビジネスプランコンテストや交流促進のためのイベント等の企画・運営を行ってきた。

今年度は、コロナ禍以降で初のフルリアル開催で実施する共に、2年後に迫った関西万博も見据えよりコンテンツを充実させるため、初の2日間開催を実現した。

【開催日】2023年12月18日(月)～19日(火)

【会場】ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター

【主催】国際イノベーション会議Hack Osaka実行委員会(大阪市、大阪産業局、日本貿易振興機構、当法人)

【当日会場来場者数】713名(申込者数891名)

【内容】

<Day1>

13:05～	Opening Act (MC)
13:10～	【Key Note Session】 ○タイトル:「レーザー核融合によるエネルギー革命と産業の創出」 ○登壇者: EX-Fusion 代表取締役 松尾一輝
13:40～	【Theme Session 1】 ○タイトル:「2040年に向けた、新たな関西経済の仕組みづくりについて」 ○登壇者: 近畿経済産業局 局長 信谷和重 大阪府 成長戦略特任顧問(一社) 国際資産運用センター推進機構 石橋邦裕 Flora株式会社 CEO クレシェンコ・アンナ フォースタートアップス株式会社 アクセラレーション本部 Public Affairs戦略室 室長 泉友詞
14:30～	休憩①(15分間)
14:45～	【Theme Session 2】 ○タイトル:「関西発スタートアップのグローバルへの挑戦」 ○登壇者: 株式会社Stroly 代表取締役 高橋真知 サグリ株式会社 代表取締役CEO 坪井俊輔 リブライパートナーズ株式会社 代表パートナー 蛭原健
15:15～	休憩②(40分間)
15:55～	大阪市長 横山英幸 挨拶
16:00～	国内スタートアップピッチ“GET IN THE RING OSAKA 2023/2024 -Impact Society-“
17:45～	クロージング

<Day2>

11:00～	Opening Act (MC)
11:05～	<p>【Theme Session 3】</p> <p>○タイトル：「世界のスタートアップ動向と今後の展望」</p> <p>○登壇者： 株式会社三菱UFJイノベーション・パートナーズ 戦略投資部副部長 廣田隆介 Sozo Ventures シニアディレクター 齊藤健一 NordicNinja VC, Managing Partner, 宗原智策 一般社団法人Fintech協会 常務理事/ファンズ株式会社 取締役CLO高尾知達</p>
11:55～	休憩① (10分間)
12:05～	<p>【Theme Session 4】</p> <p>○タイトル：「大阪が国際イノベーションハブになるには」</p> <p>○登壇者： National University of Singapore, Associate Professor Associate Vice President (Enterprise), Benjamin Tee Woven Capital, Partner, 加藤 道子 株式会社Zehitomo, Co-Founder & Chairman, フィッシャー ジョーダン Plug and Play Japan, Head of Osaka, Director, Energy & Smart Cities, Kathy Liu</p>
12:55～	<p>【協賛企業 PRタイム】</p> <p>○登壇者： 阪急阪神不動産 開発事業本部都市マネジメント事業部 課長 岡本信秀</p>
13:00～	休憩② (30分間)
13:30～	<p>【Key Note Session】</p> <p>○タイトル：「グローバル企業の視点：日本市場の魅力と課題」</p> <p>○登壇者： ストライブジャパン株式会社 代表取締役 ダニエル・ヘフェルナン 株式会社ソレクティブ 共同創業者兼CEO 岩井エリカ EDGEof INNOVATION, LLC CEO 小田嶋アレックス</p>
14:00～	<p>オープンイノベーションセッション”Succeed Together in Osaka and Beyond”</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本企業×海外スタートアップのトークセッション ・海外スタートアップ企業11社のピッチ
16:25～	クロージング

3. 産学融合による新産業創出システムの形成

大学と産業界が一体となりシーズや人材の育成を図るための事業を推進し産業の振興を図ることを目的として、「関西イノベーションイニシアティブ（KSII：Kansai Innovation Initiative）」を運営している。

本事業は2020年9月に経済産業省の「産学融合先導モデル拠点プログラム（J-NEXUS）」に採択され、当法人が代表幹事機関を務めている。今年度も未参画の大学への参画打診を行い、2024年3月末時点で17大学から30大学へと事業開始時比約1.7倍に増加した。また、各大学へのヒアリング等による課題抽出（カルテ作成等含む）や、大学発スタートアップと産業界の接点拡充も継続して行っている。2024年度は補助事業の最終年度であり、自立自走化に向けた取組を着実に進めていく。

（1）新事業のために大学・産業界をつなぐ人材育成プログラムの組成 （講座、セミナー、育成）（調査、資料収集）

● ハッカソンイベント

「データ利活用によるスマート社会の実現（PDA：データ駆動型アプリ工房）」では、昨年度に引き続き、都市データ利活用の一層の促進に向けて、データ活用アプリケーション人材の育成を目標とした取組を行った。今年度は京橋に加え「神戸」「なかもず」の2拠点をサテライトとして開催、新たなコミュニティも生まれている。

「データ利活用やってみよう!ハッカソン」

【主催】大阪公立大学

【共催】関西イノベーションイニシアティブ、
大阪スマートシティパートナーズフォーラム(OSPF)、
(一社)コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会(CSPFC)

<京橋>

*：オンライン

日程	イベント内容	会場	参加者
8/26	キックオフイベント	QUINTBRIDGE（なかもずと合同開催）	52名 116名*
9/9	ハンズオン、ワークショップ、チームビルディング	QUINTBRIDGE	40名
9/23	スピノフ-メンタリング	都市活力研究所セミナールーム	9名
10/7	スピノフ-メンタリング	コミュニティスペース5.6	6名
10/21	中間発表会	QUINTBRIDGE	24名
11/4	スピノフ-メンタリング	コミュニティスペース5.6	2名
11/11	成果発表会	QUINTBRIDGE（なかもずと合同開催）	51名 6名*

<なかもずサテライト>

日程	イベント内容	会場	参加者
9/30	アイデアソン	S-Cube	20名
10/14	ハンズオン	S-Cube	14名

10/28	中間発表会	S-Cube	10名
-------	-------	--------	-----

<神戸サテライト>

日程	イベント内容	会場	参加者
7/21	キックオフイベント	ANCHOR KOBE	13名
9/1	ハンズオン	ANCHOR KOBE	13名
9/29	ハンズオン	ANCHOR KOBE	10名
10/13	もくもく会	ANCHOR KOBE	8名
10/27	中間発表会	ANCHOR KOBE	6名
11/17	もくもく会	ANCHOR KOBE	3名
12/1	成果発表会	ANCHOR KOBE	15名

● セミナー・シンポジウム

日程	内容・サブタイトル	主催者等	参加者
10/29	第1回 INNOVATORS-KICKOFF-UMEKITA	主催：一般社団法人うめきた未来イノベーション機構（U-FINO）、一般社団法人Re-Generation 共催：関西イノベーションイニシアティブ、大阪イノベーションハブ	28名
11/10	関西バイオものづくりDXセミナー	主催：産学連携研究所、京都市産業技術研究所、大阪産業技術研究所 共催：経済産業省 近畿経済産業局、関西イノベーションイニシアティブ(KSII) 後援：バイオコミュニティ関西(BioCK)	171名
2/25	第2回 INNOVATORS KICKOFF UMEKITA	主催：一般社団法人うめきた未来イノベーション機構（U-FINO）、一般社団法人Re-Generation 共催：関西イノベーションイニシアティブ、大阪イノベーションハブ	20名

(2) 大学発ベンチャーの育成

(講座、セミナー、育成) (相談、助言) (表彰、コンクール)

産業界との接点を活かしたアプローチをとることで、アカデミアと産業界の間のギャップを解消し、シーズとニーズのマッチング機会の創出拡大を目指し、産業界とのパイプの一層の強化（業界団体との結びつき強化や関係者のニーズ等を汲んだマッチングイベント/プログラムの実施等）や、大学発スタートアップ企業のプロモーション機会の創出（関係者を繋ぐデモの実施、万博出展関係者へのスタートアップ企業の紹介等）に取り組んだ。

また、社会課題解決を旨としながら、市場において一定の事業規模を有し、さらなる継続的成長が期待できる起業をKSIIゼブラと認定し、4社の認定セレモニーを開催した。

* : オンライン

日程	タイトル・主催共催等	主催者等	参加者
6/19	KyotoX(cross)	主催：関西イノベーションイニシアティブ 共催：京都知恵産業創造の森・京都産業21・京都高度技術研究所・京都商工会議所・産学連携研究所	36名
6/23	大阪大学・OUVC・SMBC・KSII オープンイノベーションセミナー	共催：大阪大学共創機構、大阪大学ベンチャーキャピタル、三井住友銀行、関西イノベーションイニシアティブ	87名 206名*
7/6	「リジエネラティブ・アーバン ファームিং～循環型社会を実現する「食」と「農」の新産業 づくりワークショップVol2」	主催：大阪公立大学、関西イノベーションイニシアティブ、大阪イノベーションハブ（OIH）	91名
7/6	HVC KYOTO 2023	主催：京都市、独立行政法人日本貿易振興機構、京都府、京都リサーチパーク株式会社 共催：関西イノベーションイニシアティブ、京都大学産官学連携本部、京都大学イノベーションキャピタル株式会社	563名
8/1	KyotoX(cross)	主催：関西イノベーションイニシアティブ 共催：京都知恵産業創造の森・京都産業21・京都高度技術研究所・京都商工会議所・産学連携研究所	43名
8/2	関経連DXオープンイノベーション フォーラム2023	主催：公益社団法人関西経済連合会 関西イノベーションイニシアティブ	約100名
8/28	「大学発スタートアップサポーターズミーティング」	主催：関西経済連合会、関西イノベーションイニシアティブ	20名
9/14	大学発スタートアップ事業展開 支援プログラム「U-STARTUP KANSAI」	主催：大阪商工会議所、関西イノベーションイニシアティブ 共催：一般社団法人うめきた未来イノベーション機構（U-FINO）、京都商工会議所、神戸商工会議所、Xport	約100名
10/4	京都大学女性研究者産学連携 ネットワークイベント:Meジェネ	主催：京都大学 学術研究展開センター、京都大学 大学院工学研究科 共催：関西イノベーションイニシアティブ、（公財）京都高度技術研究所、京都大学 産官学連携本部	88名
11/17	関西バイオビジネスマッチング 2023（オンライン開催のみ）	主催：バイオコミュニティ関西、NPO法人近畿バイオイノベーション振興会議 共催：関西イノベーションイニシアティブ、京阪神スタートアップアカデミア・コアリション、大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアム、関西医薬品協会	参加ブ ース 121件
11/21 -22	第3回Challenge万博『いのち輝く未来社会』へ	主催：関西イノベーションイニシアティブ、三井住友銀行	420名 230名*
11/24	第15回京商イブニングピッチ	主催：京都商工会議所 共催：関西イノベーションイニシアティブ	-
12/4	微生物でみる農学研究の可能性 ～フードテック・機能性食品・	主催：関西イノベーションイニシアティブ、京大オリジナル株式会社	248名

	グリーンプロダクツ(生物農薬)で成長産業に挑む～		
12/12	産学融合ミーティング “DEEPTech CAMPUS”	主催：関西イノベーションイニシアティブ、うめきた未来イノベーション機構	45名
12/20	うめきた響合の場	主催：一般社団法人うめきた未来イノベーション機構 (U-FINO) 共催：関西イノベーションイニシアティブ	60名
12/20	ゼブラ認定セレモニー	主催：関西イノベーションイニシアティブ	-
12/22	レジリエントな社会を考えるシンポジウム	主催：関西イノベーションイニシアティブ、京都高度技術研究所	95名
1/19	都市農業シンポジウム	主催：大阪公立大学 共催：関西イノベーションイニシアティブ	約30名 54名*
1/28	第2回うめきたZ世代未来社会デザイン	主催：うめきた未来イノベーション機構 (U-FINO) 、 Re:Generation 共催：関西イノベーションイニシアティブ	23名
2/2	未来X (mirai cross) ～大阪ネットワーキング～	主催：未来X (三井住友銀行、SMBCベンチャーキャピタル、SMBC日興証券) 共催：関西イノベーションイニシアティブ	25名
2/5	産学融合ミーティング 「DEEPTech CAMPUS #2」	主催：関西イノベーションイニシアティブ、うめきた未来イノベーション機構 (U-FINO)	45名
2/20	第3回大学発スタートアップサポーターズミーティング	主催：関西イノベーションイニシアティブ、関西経済連合会	13名
2/22	第16回京商イブニングピッチ	主催：京都商工会議所 共催：関西イノベーションイニシアティブ	20名
2/22	京都大学若手研究者産学連携ネットワークイベント： Transform柱	主催：京都大学 学術研究展開センター、京都大学 大学院工学研究科 共催：関西イノベーションイニシアティブ	130名
2/27	第5回産官学金連携推進連絡会 (私学連絡会)	主催：関西イノベーションイニシアティブ、株式会社三井住友銀行	28名
3/12	政府系支援機関スタートアップ支援施策説明及び個別相談会～大学産学連携担当者向け～	主催：関西・共創の森 共催：関西イノベーションイニシアティブ	37名

(3) 産業の振興のための産学融合拠点のあり方の研究（調査、資料収集）

産学融合のネットワークハブとなるような物理的な拠点について、その求められる機能や仕組みについて調査・検討しつつ、一部の機能については先行してトライアル実装を行う。

- 技術シーズデータベース
企業や起業家が、大学発の技術シーズを一括して閲覧・検索することが可能となることで、技術シーズ情報の活用促進を図るため、昨年度から参画大学の技術シーズ情報を登録して技術シーズデータベースを作成しており、今年度も参画大学に対してデータ提供を依頼し、データベースの充実を図っている。
- 大学発スタートアップ集
関西域での大学発スタートアップの見える化を図り、産業界・金融・VC等へのKSIIからの発信および各方面からのスタートアップに対する協業・支援機会を創出する。より多くの方々に見てもらうため、また、常に最新情報の提供を目指して電子媒体と紙媒体で提供しており、現状100社から今後も掲載数を増やしていく。
- 産学融合拠点創出会議
関西における産学融合拠点のビジョンを具体化するため、産学官金各界のキーパーソンによる会議体を立ち上げ、忌憚ないご意見を頂戴し、今後の活動の参考とする。

	実施日時	内 容
第4回	6/26	産学融合拠点創出会議
第5回	24/1/29	産学融合拠点創出会議

- ベンチャーキャピタリストの能力・資質に関する調査
大学発ベンチャーへのアンケート・インタビューを通して、ベンチャーキャピタリストのあるべき姿を探り、その能力・資質について調査する。調査結果は大学に水平展開し、今後ベンチャーを立ち上げる研究者へ提供することを目的に実施。

実施日時	内 容
12月～3月	ベンチャーキャピタリストの能力・資質に関する調査

- 投資家の利害関係に関する調査
シリーズC以降の資金調達における潜在的な投資家の投資嗜好（Investment Appetite）が異なる局面について、当該状況の発生要因やベンチャー企業が採るべき方策について考え方のフレームワークを提示することを目指して実施。

実施日時	内 容
11月～3月	ベンチャー投資に関する課題調査

【公益事業2】まちづくりを推進し、都市の活性化を図る事業

1. 都心まちづくり等のあり方に関する調査研究

新しいまちづくりのあり方について産学官で議論する場をつくり、今後の新しい方向性の提言等により、新しいムーブメントの醸成に寄与する。

(1) UIIまちづくり研究会（調査、資料収集）

大阪都心部の活性化に向けて、これからのまちづくりのあり方を研究する研究会を設置し調査研究を行っている。

今年度は、2件の研究を実施しており、テーマは次の通りである。

○（継続テーマ）サステナブルなまちづくりに関する調査研究

産学官から、大阪都心及びその近郊の中長期的なあり方を考えるうえで鍵を握るメンバーを集め、情報・意見交換の場を設けた。そのなかで、まちづくりの最新動向に関する話題の提供を行い、サステナブルなまちづくりのための課題を抽出し、解決の方向性を見出す活動をしている。

今年度は、学識経験者、公共団体等の中堅層、経済界などへの研究会参加の依頼を行い、研究会を4回開催した（メンバー23名）。

日程	タイトル	講師
7/26	未来を見据えた「うめきた2期区域」のまちづくり（ランドスケープ／公園利活用トライアル／まちづくりDX） UR団地をまちに開く可能性／団地とまちのエリアマネジメントの取組事例について	(独)都市再生機構西日本支社 都市再生業務部 事業企画課 課長 安田和弘 氏 (独)都市再生機構西日本支社 ストック事業推進部 部長 田邊 豪二 氏
11/27	J R西日本における沿線まちづくりの取組み 阪急電鉄における沿線まちづくりに関する取り組み 鉄道を軸としたまちづくりの事例について	西日本旅客鉄道株式会社 交通まちづくり戦略部 沿線まちづくり 課長 森田信弥 氏 阪急電鉄株式会社 都市交通事業本部 沿線まちづくり推進部 立林信人 氏 南海電気鉄道株式会社 鉄道事業本部 えきまち計画推進部 課長 小出泰弘 氏
12/6	ICTによる新社会システム創成と生産性～究極の未来考へ	埼玉大学名誉教授 長谷川孝明 氏 コーディネーター 大阪大学大学院工学研究科 地球総合工学専攻 交通・地域計画学 教授 土井健司 氏
3/21	サステナブルシティ実現に向けて	国土交通省 官房技術審議官（都市局） 菊池雅彦氏 箕面市 副市長 柿谷武志氏 大阪大学大学院工学研究科 地球総合工学専攻 交通・地域計画学 教授 土井健司氏 立命館大学 理工学部 環境都市工学科 教授 岡井有佳氏

○（継続テーマ）コミュニティ活動を通じた地域文化資源発見

従来の発想にとらわれない新しい視点での地域文化資源を定義・抽出・編集することにより、大阪の「キタ」エリアの魅力を語るストーリーを導き出すとともに、まちを使いこなす人材を育成することを目的に、今年度も「キタ再発見の会」を開催している。リアルとオンラインにて今年度に4回実施した。

※コーディネーター（一社）うめらく 代表 山田摩利子

日程	タイトル	講師	参加者
8/31	担い手を育て、地域のレジリエンス力を高める大淀西地域	大淀西地域活動協議会 会長 山崎 英與氏 大淀西福祉コーディネーター 松根 聡子氏	30名
11/2 2	新しいコミュニティでミライをつくる滝川地域	滝川地域北区青少年指導員 代表 永田博之氏 同 副代表 柳瀬昌弘氏	21名
2/29	梅田の居場所	梅田東地域活動協議会 会長 丈達 祐士氏	27名
3/29	豊崎東小地域 福祉の未来へ向けた取り組み	豊崎東地域活動協議会 地域交流部会 災害・防災部長 川口 健氏 子どもの居場所「なごみのうつわ運営協議会」会長 小長谷明美氏	17名

（2）U11まちづくりに関するセミナーの開催（講座、セミナー、育成）

● U11まちづくりフォーラム

まちづくり分野の新たな施策・制度や動向を紹介するセミナーを、今年度に4回実施し、大阪府を中心に関西の都市が抱える課題や解決の方向性について、様々な視点から議論を深めた。

日時	タイトル	講師	参加者
9/1	地域とまちづくりビジネスのマッチングに関する研究 調査報告会	大阪大学大学院工学研究科 ビジネスエンジニアリング専攻 教授 加賀有津子 氏 同 講師 武田裕之 氏 同 特任研究員 関根仁美 氏	70名
11/16	まちづくりと一体となった都市公園の再整備の動向	国土交通省 都市局 公園緑地・景観課 公園利用推進官 石川 啓貴 氏 尼崎市 都市整備局 都市戦略推進担当 課長 大前 仁哉 氏 阪神電気鉄道株式会社 沿線価値創造推進室 沿線不動産開発推進担当 課長 中塚 裕隆 氏 東急株式会社 都市開発事業部 事業戦略グループ 事業戦略担当 椎名 僚平 氏	105名
12/6	ICTによる新社会システム創成と生産性 ～究極の未来考へ	埼玉大学名誉教授 長谷川孝明 氏 コーディネーター 大阪大学大学院工学研究科 地球総合工学専攻 交通・地域計画学 教授 土井健司 氏	112名
3/21	サステナブルシティ実現に向けて	国土交通省 官房技術審議官（都市局） 菊池雅彦氏 箕面市 副市長 柿谷武志氏 大阪大学大学院工学研究科 地球総合工学専攻 交通・地域計画学 教授 土井健司氏 立命館大学 理工学部 環境都市工学科 教授 岡井有佳氏	80名

その他、共催したセミナー

日時	タイトル	主催者	参加者
2/22	都市づくりについての技術研究発表と講演会	アーバンインフラ・テクノロジー推進会議	70名
3/27	「Beyond 2050 プロローグ第3節」～京都大学が描く未来のまち～	京都大学 オープンイノベーション機構	約90名

● UIIまちづくりDX講座

まちづくりを生業とする参加者に対し、実践型のセミナーを実施することで「まちづくり×DX」について考える機会の提供とコミュニティの形成を目指す連続講座を本年度から開催している。（参加者20名）

日時	タイトル	講師
6/3	Google Sitesを使って、災害ポータルサイトを作ってみよう	GONENGO LLC Founder/CEO Xin Suzuki氏
7/1	Glideを使って、まちあるきマップアプリを作ってみよう	Locutus. LLC CEO兼システムエンジニア 田中伸弥 氏
8/5	Glideを使って、お店マップアプリを作ってみよう	データ・サイエンティスト なんや@nanya3737 氏
9/2	Glideアプリ成果発表会：ノーコードアプリのフィードバックをもらおう	兵庫県立大学 社会情報科学部 船越丈寛氏
10/7	「まちづくりDXコミュニティのつくりかた」パネルディスカッション	パネリスト：大阪駆動開発 Co-Founder 山地直彰氏 株式会社フォーシーカンパニー 取締役 中塚貴志氏 富士通株式会社 ソフトウェアエンジニア 宮浦恭弘氏 コーディネーター：GONENGO LLC Founder/CEO Xin Suzuki氏
11/4	LiDARと360度カメラを使って、廃校をデジタルアーカイブしてみよう	建築系3DCGデザイナー 荒木一優氏
12/2	Hubsを使って、建物を3D（メタバース）空間上に再現してみよう	
1/13	ChatGPTとIFROを使って、観光案内チャットボットを作ってみよう	プログラマー 大西優司氏
2/3	PythonとNotionを使って、まちのデータをAPIでアクセスしてみよう	
3/2	Google Colaboratoryを使って、チャットボットの分析をしてみよう	

(3) UIまちづくりレターの配信（調査、資料収集）

まちづくりに係わる様々な話題や動向を調査して、レター形式で情報を配信するもの。今年度は6回配信した。

日時	タイトル
4/28	Vol.50 オフィス移転から見たリーマン・ショック後 10 年の変容のモデル化とポスト・パンデミック時代の関西でのオフィス利用・選択・マーケティング
5/12	Vol.51 これからのソーシャルデザイン
6/9	vol.52 十三× JUSO CROSS ストック活用編
8/29	vol.53 関西大学との共同研究「十三デザイン・プロジェクト」
10/20	vol.54十三× JUSO CROSS 防災編
2/5	vol.55十三× JUSO CROSS ストック活用編 2

また、2016年以降に発行したレターの原稿をまとめた冊子を作成し、国公立の図書館に広く寄贈した。

2. 鉄道沿線まちづくりに関する調査研究

大都市近郊部の高齢化や人口減少等の課題に対応するため、鉄道の駅を中心としたコンパクトなまちづくりを目指し、鉄道沿線価値の維持・向上に向けた調査研究を行い、提言につなげる。

(1) 都心近接エリアにおける鉄道沿線まちづくりに関する研究（調査、資料収集）

● 十三デザイン・プロジェクト

近未来（2040年）を念頭に置き、十三エリアにおいて目指すべきまちづくりの方向性を提案する手がかりとなる魅力や展望、課題を抽出し、開発の方向性について考察した。

関西大学 との共同 研究概要	<ul style="list-style-type: none"> ・十三のブランド・イメージに関する調査 ・十三のブランド資産の発掘 ・十三に関するブランド・イメージの拡散
----------------------	---

● 「十三× JUSO CROSS」

十三のイメージや知名度のアップに向けた情報発信イベント「十三× JUSO CROSS」を今年度に3回主催したほか、3回共催した。

<当法人主催>

9/10	十三X(Juso Cross)防災編	大阪市淀川区役所 市民協働課 担当係長 瀧谷祐介 氏 国土交通省淀川管内 河川レンジャーアドバイザー 辻川松子 氏 神戸大学大学院 工学研究科 建築学専攻教授 神戸大学減災デザインセンター長 槻橋 修 氏	参加者 27名
12/9	十三 X (Juso Cross) ストック活用編 2	近畿大学 建築学部建築学科 准教授 寺川政司 氏 大阪市淀川区役所 政策企画課長 田口陽一朗 氏 一般社団法人大阪府不動産コンサルティング協会 副会長 株式会社つばさ資産パートナーズ 代表取締役 岡原隆裕氏	50名

3/20	十三X (Juso Cross) まちの資源活用編	関西大学 総合情報学部 教授・松下光範氏 十三うまいもん研究所 (株式会社リブライズエステート) ・高嶋沙耶氏 株式会社地域環境計画研究所 代表・若狭健作氏	49名
------	---------------------------	--	-----

<株式会社ウェルビーイング阪急阪神主催事業への共催>

9/18	親子でつくろう! 十三〇〇開発計画	97名
2/5 3/9	写真整理ワークショップ・まちの記憶のアーカイブ編	DAY1:15名 DAY2:8名
3/2	クスノキセイザイワークショップ	12組・30名

● **都市住宅学会との共同研究**

都心近接エリアにおいて空き家の発生などが見込まれる地域の賃貸業（大家）支援とストックリノベーション促進によりブランド向上を図るための研究を行っている。今年度はセミナーを2回実施した。

11/11	都心近郊エリアの空き家活用における不動産コーディネーターの役割とは	株式会社ベイサイドリアルター 代表取締役 西村匡史氏	22名
12/17	みんなが安心して暮らせる坂のまち、空き家と防災のまちづくり	特定非営利法人京都泉山 理事長 前今熊野自治連合会会長 石井 良之 氏 今熊野学区自主防災会副会長 樋口 博紀 氏 Roomie 代表 小原 亜紗子 氏	33名

3. エリアマネジメントに関する調査研究

地域における良好な環境や価値を維持・向上させるための地権者を主体とした取り組みについて、梅田地区を例にとり調査研究を行う。

(1) エリアマネジメントに関する調査・研究（講座、セミナー、育成）

<今年度実績なし>

(2) エリアMICEの推進に関する調査・研究（調査、資料収集）

<今年度実績なし>

【その他事業】産業とまちの活性化のために実施する公益事業をより有効なものとするための補助的事業

1. 創薬関連プロジェクトの推進支援

大阪の地場産業である製薬業界の振興のため、非競争領域における創薬の基盤技術の普及や促進のための活動を支援する。現在は、コンピュータやヒト細菌叢（マイクロバイオーーム）の利用促進に関する活動を支援している。

(1) (特非) バイオグリッドセンター関西の運営支援

文部科学省ITプログラム「スーパーコンピュータネットワークの構築」（バイオグリッド・プロジェクト）として、2002年より2006年の5年間実施したプロジェクトを母体に、その研究成果の産業利用を目的に2004年に設立された。情報技術とバイオ、医療の融合分野における研究開発及び教育普及活動を行っている。

当法人は、2004年度設立時より事務局業務を受託し、今年度も運営を支援中である。

○事務局運営

第20回総会（5月27日）並びに研究会をはじめ、バイオ研究者や製薬企業・ICT・バイオ関連企業関係者の交流事業やプロジェクトを運営した。

○バイオグリッドHPCIプロジェクト（KBDDプロジェクト）

2012年度より、創薬にスーパーコンピュータを活用するプロジェクトとして活動している。参画者は、2023/4/1現在、製薬企業11社、IT企業1社、アカデミア・国研等10機関である。活用しているスーパーコンピュータは、富岳（無料産業利用枠）である。当法人は事務局として運営を支援している。

(2) (一社) 日本マイクロバイオーームコンソーシアムの運営支援

本法人は、当法人主催の研究会を端緒とし、製薬や食品業界を中心として2017年に設立された企業コンソーシアムで現在は下記の研究開発を担っており、今期で7期を終えた。AMEDから採択された事業は6年間のプロジェクトの3期目を終え順調に進捗している。

プロジェクト名	概要	委託元
次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業	腸内マイクロバイオーーム制御による次世代創薬技術の開発	日本医療研究開発機構 (AMED)

(3) バイオコミュニティ関西（BiocK）の運営支援

本団体は、2021年7月、内閣府のバイオ戦略に基づき、バイオエコノミー社会の実現を目標として設立された。当法人はNPO法人近畿バイオインダストリー振興会議と共に事務局を担い活動を支援している。内閣府認定のグローバルバイオコミュニティとして、27の分科会活動の牽引、一般向けにバイオ戦略トークセミナーの開催、WEB情報発信を行っている。

日程	概要	出席者
7/5	第5回委員会（2025年開催予定の国際イベントについての意見交換）	内閣府、委員等 91名
8/31	第3回分科会会議（新分科会紹介、課題共有のラウンドテーブル等）	分科会メンバー等 61名
2/6	第6回委員会（新分科会紹介、分科会活動報告、意見交換）	内閣府、委員等 91名

(4) 次世代モダリティ研究所の運営支援

低分子に代わる製薬の新しいモダリティ（様式）として、抗体、核酸、細胞治療などが注目を集めている。これらは従来の創薬手法ではないアプローチが必要で、化学メーカーなども非常に興味を持っている。新しいモダリティのあり方を、化学メーカー、製薬メーカー、バイオベンチャーなど巻き込んで技術課題やビジネスの在り方を研究するため、特定非営利活動法人情報計算化学生物学会（CBI学会）の傘下のCBI研究機構内に次世代モダリティ研究所を設立し、その事務局として運営支援を行っている。

2. エリアマネジメント活動の支援

公益事業2において調査・研究したまちづくりのあり方の方策を実践に移すため、主に都心部におけるエリアマネジメント団体等の諸活動を支援している。

(1) 梅田地区における案内所業務への支援

都心部における案内サービスのあり方を検討するとともに、各案内所で共通で利用できるツールの作成を通じて案内所業務への支援を行っている。

今年度は、全体的な情報の把握と整理が必要なもの（バスのりば案内、鉄道路線図、金融機関等）のマップと詳細情報リストを今年度に4回更新作成し、各案内所に配布した。

(2) エリアマネジメント活性化会議の事務局支援

大阪市と市内エリアマネジメント8団体で構成する会議で、大阪市内におけるエリアマネジメント活動の活性化に向けたアクションプランとガイドラインの策定を目指し、2016年度に発足した。

今年度は公益性の創出に向けて、11団体が連携して取り組むことができる活動を行うとともに、大阪エリアマネジメント活性化ガイドラインの充実を図る。今年度は本会2回、部会4回の運営を支援した。

日程	内容
6/30	合同部会・万博部会
7/24	第15回大阪エリアマネジメント活性化会議
9/7	第8回安全・安心部会
1/17	第9回安全・安心部会
1/25	第2回万博部会
3/25	第16回大阪エリアマネジメント活性化会議

3. (公社) 都市住宅学会関西支部の運営支援

日本の都市住宅・居住学について、社会、経済、技術、文化等の横断的な領域にまたがる学際的な学会で、1992年に設立された。関西支部においては、公的住宅団地、子育て環境、超高層住宅のあり方や、鉄道駅を中心としたコンパクトなまちづくりに関する調査研究を実施している。

当法人は、2015年より事務局業務を受託し、今年度は総会1回・常議員会7回のほか、関連セミナー1回の運営を支援した。

4. 大学技術シーズの発掘と育成支援

公益事業1で実施する「関西イノベーションイニシアティブ」事業を補完し相乗効果をあげるため、産業界や金融界の専門的有識者に対してマッチングさせる等、カスタマイズ型の支援を行うことで産学共創を加速度的に推進させる。

- スタートアップ紹介動画の作成
公益事業1で実施した「第3回Challenge万博」に参加する大学発ベンチャーの事業を紹介する動画を計10本作成した。
- 個別スタートアップへの支援
2023/12/19に開催された「イノベーションストリームKANSAI」に出展するスタートアップ3社の出展費用を支援した。
- 個別企業とのマッチング支援
大企業が主催するミートアップへスタートアップ5社を推薦した。

日程	タイトル・主催共催等	主催者等	参加者
9/4	ヤンマーベンチャーズミートアップ「YVS-KSII 関西イノベーションピッチ#1」	主催：ヤンマーベンチャーズ 共催：関西イノベーションイニシアティブ	37名

5. 産学連携シェアオフィスの運営

産学融合拠点のモデルとなる事業として、2022年4月～シェアオフィスの運営を開始している。

利用者	人数
(一社) ライフインテリジェンスコンソーシアム	1名
関西イノベーションイニシアティブ 上級エリアコーディネーター	4名
当法人の客員研究員 (バイオチーム)	1名

【法人管理】公益法人としての適正な運営

理事会を4回、評議員会を1回開催し、公益法人として適法な運営を行った。

第52回理事会	2023/4/1	第1号議案 専務理事選定の件
第53回理事会	2023/6/1	第1号議案 2022年度 事業報告書並びに決算報告書承認の件 第2号議案 顧問一名選任の件 第3号議案 第16回評議員会招集の件 報告事項 2022年度事業報告等に係る定期提出書類提出の件 職務執行状況報告
第16回評議員会	2023/6/20	第1号議案 2022年度 決算報告書承認の件 第2号議案 評議員3名選任の件 第3号議案 理事4名選任の件 第4号議案 監事1名選任の件 報告事項 2022年度事業報告の件
第54回理事会	2023/11/6	議案1 2023年度収支予算見直しの件 議案2 旅費支給規程改訂の件 報告事項 職務執行状況報告
第55回理事会	2024/3/26	議案1 2024年度事業計画書、収支予算書、並びに資金調達及び設備投資の見込みの承認の件 議案2 稟議規定（別表）意思決定基準改訂の件 議案3 2024年度役員賠償責任保険契約締結の件

附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

以 上